

キャラクター名	プレイヤー名
早川 嘉音	

シンドローム	ハヌマーン ノイマン	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプション	オルクス	年齢	16歳	性別	男性
覚醒	忘却	衝動	自傷	初期侵食率	33 %
出自	親の理解	経験	トラウマ	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	0			1	行動値	11
感覚	1	0	2			3	(非装備時)	11
精神	4	1	0			5	戦闘移動	16
社会	2	0	1			3	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	2	1	調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
響かせるは風の歌	交渉	3r				要の陣形1+導きの華2+エンジェルヴォイス2
響かせるは風の歌	交渉	3r				要の陣形2+導きの華3+エンジェルヴォイス3 100%時。
聞こえるのは世界の声		0				天性のひらめき2+領域の声1
聞こえるのは世界の声		0				天性のひらめき3+領域の声2 100%時。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ: UGN幹部		ロイス			
コネ: 噂好きの友人		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
コネ: 情報屋		Dロイス: 組織の助力	P	N	
コネ: 手配師		両親	P 信頼	N 不安	
思い出の一品		先輩	P 尊敬	N 疎外感	
制服 (高校)			P	N	
カジュアル			P	N	
アクセサリー			P	N	
携帯電話			P	N	
学生証		最大財産P:	10	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
要の陣形	1	3	メジャー	-	3体	シンドローム	-	
効果:	組み合わせたエフェクト対象を3体に変更。シナリオLV回。							
導きの華	2	4	メジャー	視界	単体	RC/交渉	-	
効果:	対象の次のメジャーの判定達成値+LV×2。							
エンジェルヴォイス	2	4	メジャー	視界	単体	交渉	-	
効果:	対象の次のメジャーのC値-1。ダイス+LV個。							
天性のひらめき	2	4	メジャー	-	-	-	-	
効果:	あらゆる能力・技能判定に組み合わせ可能。C値-LV (下限値7)。戦闘時不可。							
領域の声	1	1	メジャー	-	-	情報:	-	
効果:	組み合わせた判定のダイスを+[LV+1]個する。							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

EA&LM仕様。

「せんば〜い！今日はどんな歌を唄ってくれるんですか〜！早く聞かせてくださいよ〜！」
 僕は早川嘉音（はやかわ かのん）。高校生でUGNチルドレンをしてるんだ〜。シンドロームは、ハヌマーン/ノイマン/オルクスのトライブリードだよ。生まれた時は普通な家庭だったんだ。けど、小学校くらいから途中で記憶が無くて、気付いたら病院で入院してたんだ。そしたら、自分の中で何かが蠢くような奇妙な感覚があって、ちょっと怖かったんだ。
 けど、見舞いに来た両親に話したら、それはレネゲイドウィルスっていう未知のウィルスで、それを発症した人はオーヴァードって超人になれるんだって。それに僕もなったんだって。それと、実は両親2人ともオーヴァードで、UGNって組織のエージェントなんだって。職場結婚らしいよ？良い事だね！

それであ、親の勧めもあってUGNチルドレンとして活動する事になったんだ。あいにく戦う情報は無いけど、情報収集とか、味方の支援とかは得意なんだよ！けど、1つだけ不思議な事があるんだ。それは、激しい火を見たりすると怖くて体が震えて動けなくなっちゃうんだ。けど、その原因となる記憶は無いんだ。おそらく、それが僕の記憶がない理由で、一生抱え続けるトラウマなんだと思う。いつか克服しなきゃとは思っただけだね。

それから訓練を続けてたんだけど、どうやら僕は歌う事によって仲間の力を引き出す事が出来る事が分かったんだ。だから、高校に入って合唱部に入ったんだけど、いやいや、そう上手くはいかないものだよな〜。「男の癖に合唱部なんて入ってるなんて女見たいじゃねえか」とか言ってる馬鹿な奴らに目を付けられちゃって、虐められてたんだ。だけど、その時に助けてくれたのが僕の尊敬する先輩なんだ。すっごく格好良かったんだよ〜！それからお礼を言ってその時は別れちゃったけど、文化祭でその先輩が軽音部で歌ってるのを聞いて、すんごく歌が上手かったんだ〜。それでその先輩に尊敬の念を抱いて、僕は軽音部に兼部して、その先輩にしょっちゅう付いて行くようになったんだ〜。態度は冷たかったりする時はあるけど、根は優しいみたいだよ？あっ、ちゃんと合唱部の方も頑張ってるからね！とりあえず、毎日楽しい事ばかりで面白いよ！

性格は能天気で楽観的。いつも笑顔を絶やさないような明るい子。お喋りも好きでクラスのムードメーカー的存在。少し実年齢より精神年齢が幼い様にも見える